

キッズだより



令和6年10月 第31号
たかといちどいキッズ

子は親の鏡

「見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる」

『自分の願い』という課題で、シンガポールの小学1年生の男の子が、「ぼくは、スマートフォンになりたい」と書いたそうです。「パパとママはスマートフォンが大好きだから、2人は、ぼくのことよりスマートフォンばかり気にしています。パパは、仕事で疲れて帰って来た時、スマートフォンの時間はあるけど、ぼくのための時間はないみたい。パパとママは、ぼくが泣いていてもすぐにスマートフォンには出るんだ。2人は、ぼくとじゃなくてスマートフォンと遊ぶんだ。ぼくが大事なこと伝えようとしても聞いてくれない。だからぼくは、スマートフォンになりたいんだ。」という文章でした。これを読んで、本当にそうだなと思いました。こういう姿をよく目にします。電車の中で、子どもが「みてみて」と窓の外景色を一緒に見てほしそうにしていました。すると「はいはい」とスマホを見ながら空返事。公園で滑り台から「ママみていてね」と言っても、スマホを見ながら「はい」。もちろん仕事関係の連絡を見ているのかもしれませんが、子どもからしたら、「スマホはいいな。いつもみてもらっている」となるような気がします。子どもは、日々成長し1日として同じではありません。小さな変化を見落とさないようにしていきたいものです。親の視線は、子どもに伝わります。『見ていてくれている』と安心すると、子どもは喜んでやる気を出すでしょう。その時は、全力で見守り応援していきましょう。

朝夕と涼しくなり過ごしやすくなりましたね。登園・降園の時に長袖で登園しても、日中は気温も高くなります。子どもたちも全身を動かして遊び汗だくになります。登園した際には、半袖に着替えられるように衣服の補充をよろしく願いいたします。快適に過ごせるように配慮していきたいと思えます。

先月は、親子ふれあいデーの参加ありがとうございました。親子でふれあって遊ぶ、見つめ合って楽しむ、親子の時間が作れたのではないのでしょうか。アンケートの回答の中に、「子どもの笑顔が見られてよかった。」「慣れた場所・いつもの場所で子どもの普段の姿が見られてよかった。」「積極的に遊ぶ姿に感動した。」などたくさんのご意見・ご感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。

北坂 美知子



10月の予定

誕生会	9日(水)	救急訓練	10日(木)
避難訓練	18日(金)	発育測定	23日(水)





あけく・ひかりん



「ここに手を入れようね」「足はどこかな？」など丁寧に声をかけ、着替えに興味をもてるよう関わってきました。今では、保育士が「着替えようね」と声をかけると衣服を広げて、嬉しそうにしています。Tシャツなど脱ぐ時に「ばあ」と顔を出し喜んでいました。ズボンは、保育士が手を添え援助し足を入れると自分でズボンを上げようとする姿が見られるようになってきました。今後も、一つひとつ丁寧に声をかけ楽しく着替えられるようにしていきます。

ポットン落としやパズルに興味をもち始めています。手指を使った遊びを楽しめるように、手を添えて一緒に遊んだり楽しさに共感したりします。



頭が出てきたね



足が入ったね

今月のねらい：保育士と一緒に手指を使った遊びを楽しむ



ひかりん



残暑が厳しかった9月。室内で十分に体を動かして遊ぶことを楽しみました。すべり台では、「(れっつ) ごと！」と掛け声でシューッと滑り、滑り終わると拍手をして喜んでいました。『さんぽ』の曲で歩いて、テンポが速い曲になると走るという遊びでは、曲を聴き分け、友だちと手を繋いで歩いたり、保育士が「まてまて」と追いかけると笑顔で走ったりして楽しんでいました。過ごしやすい季節になったら、屋上園庭や鷹取駅北公園へ行き、戸外でのびのびと体を動かして楽しめるようにします。

なんでも自分でしたいという思いが出てきた子どもたち。来月は、やってみようとする姿を認め、保育士が援助することで、自分でズボンを穿けるように関わっていきます。



シューツ



あるこーう♪



まてまて

今月のねらい：保育士に手伝ってもらいながら、ズボンを穿いてみよう



あけく・ひかりん



保育士が着替えに誘いかけると、「じぶんで」「んー」と言って、やってみようとするこがが増えてきました。「足はどこに入れるのかな?」「袖から手を出せる?」など、声をかけながら見守ると、自信のある顔で顔着脱しようとしています。したいという思いに合わせ、ズボンを一緒に引っ張ったり、衣服の向きを揃えたりして援助しています。引き続き、しようとする姿を認めたり、見守りながら声をかけたりし、少しずつ衣服の着脱に慣れていけるようにしていきます。

今月は戸外に出かけ、どんぐりや落ち葉を探して一緒に触ったり、発見したことを共有したりし、秋の自然に触れることを楽しめるようにします。



手が出てくるかな



出てきた!



足が出てこないね



ズボン上げられたね

今月のねらい：秋の自然に触れることを楽しむ



12月



先月は初めて、椅子取りゲームをしました。分かりやすいよう、ルールを繰り返し丁寧に伝えました。最初は“音楽が止まったら椅子に座る“ということに慣れるようにしました。座ることに慣れた後は、椅子を1つずつ少なくしていきました。するとよく見て椅子に座ったり、座れない時には、マットの上で友だちを応援したり、少しずつルールを理解し楽しむ姿が見られるようになりました。引き続き、様々なルールのある遊び取り入れ楽しめるようにしていきます。

衣服の着脱では、自分でしようとするが増えてきました。様子を見守り、難しい時には手伝ったり認めたりして、1人で着替えられるように援助していきます。



あるこう♪あるこう



いすないね

今月のねらい：衣服の着脱を自分でしようとする



《調理器具について知ろう！調理器具を使ってクッキング》

9月は調理器具の説明をしました。包丁やまな板、ボール、ピーラーなど普段ご家庭でも使われている調理器具を始め、マッシャーや泡だて器などの説明をしました。子どもたちは調理器具の名前や使い方を聞いて不思議そうにしていました。その後は実際に使っておやきを作りました。にじ組は泡立て器やマッシャーで豆腐を混ぜたりさつまいもを潰したりしました。あさひ、ひかり組はジップロックに入れた豆腐やカボチャを手で潰しました。



まぜまぜ



約束！

熱いから手は後ろで見ようね



ん～おいしい♡



焼いているところを見て完成を楽しみにしていた子どもたち。給食の時に食べると「おいしい」と嬉しそうに食べていました。潰して混ぜる工程ですのでご家庭でも作ってみてはいかがでしょうか。

乾 光恵